

(7) 令和6年度下期下水道事業の概況

ア 建設事業の状況

既成市街地の汚水整備のうち、江戸川左岸流域関連公共下水道整備事業については、美原地区約2.3ヘクタール、中野久木地区約2.9ヘクタール、古間木地区約1.4ヘクタール、前ヶ崎地区約2.6ヘクタール、向小金地区約0.8ヘクタール、手賀沼流域関連公共下水道整備事業については、青田・駒木台地区約10.5ヘクタール、駒木地区約3.1ヘクタールの整備を行い水質汚濁防止及び住環境の向上を図った。

更に、つくばエクスプレス沿線整備事業に係る污水管整備として、運動公園周辺地区約6.3ヘクタールの整備を行い、水質汚濁防止及び住環境の向上を図った。雨水管整備として、運動公園周辺地区約0.1ヘクタールの整備を行い、浸水対策を図った。

イ 業務の状況

当期の排水区域内人口は、201,052人で、前年同期に比べ3,263人の増加があった。

行政区域内人口と比較する普及率は、94.34パーセントで、前年同期に比べ0.64ポイントの増となった。